

学校通信

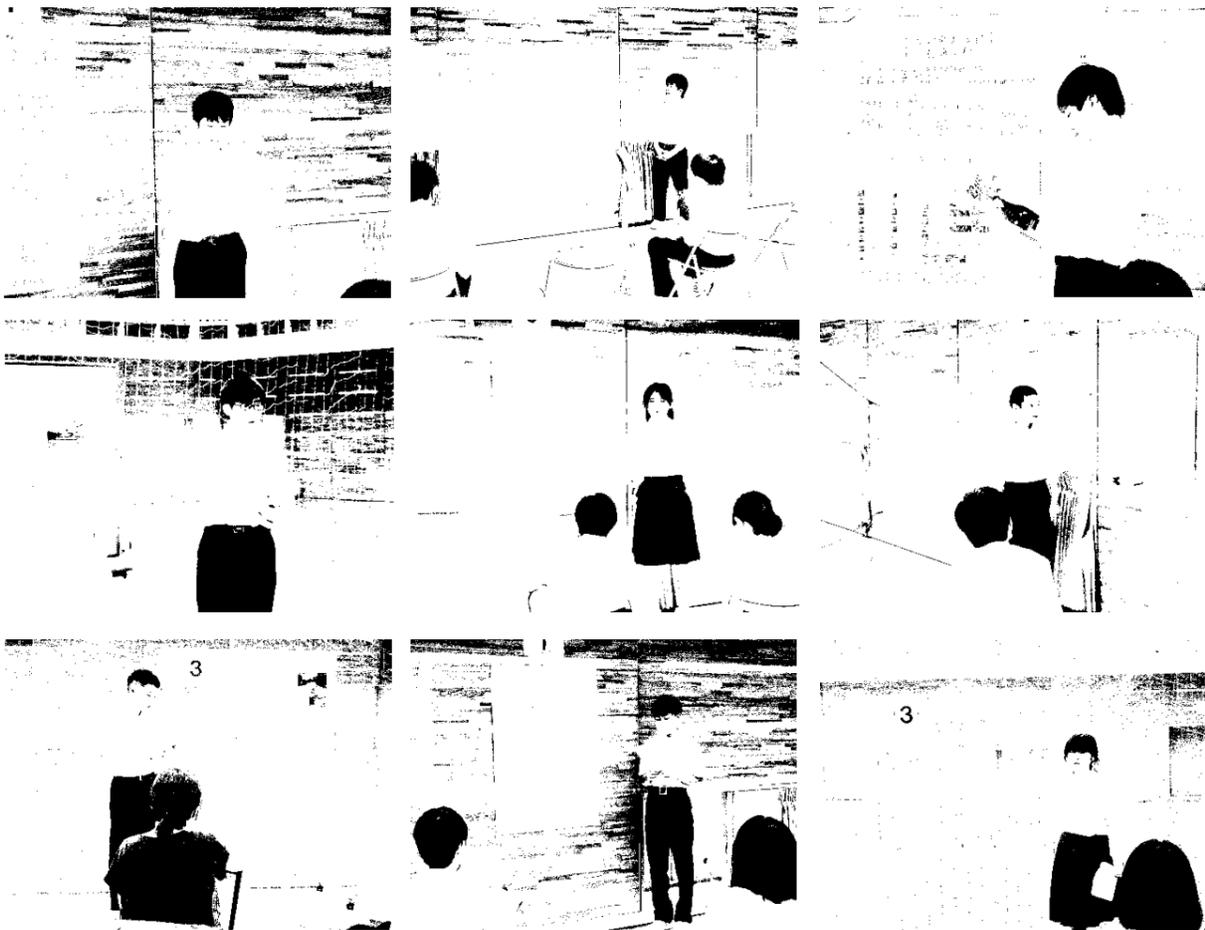
学校教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和2年7月17日 第13号 四万十町立大正中学校



2年生の高校調べ学習発表

中学校2年生は進路学習の一環で県内の高等学校について調べ学習を行いました。7月14日(火)にその成果を中学校1年生と学校評価委員の方々を対象として聞いて頂きました。2年生は1人1校調べており、模造紙に調べた内容をまとめ、さらに発表原稿も作成して本番に臨みました。1人2回発表の機会があり、1回目はかなり緊張したようでしたが、2回目は慣れもできて、少し表情も明るくなり、良い発表となりました。四万十高校の宮地校長先生からは「各自が工夫して内容を分かりやすく説明していました。各高校とも特色ある学校の取り組みが必ずありますので、その特色についての調査に力を入れ、さらに思いを込めてアピールすればもっと良くなります。」とコメントをいただきました。



エコキャップで社会貢献活動!

大正中学校では社会貢献の一環としてエコキャップに参加しており、医療支援や障害者支援、子どもたちへの環境教育等、様々な社会貢献活動への還元に協力しています。これまでの活動で累計個数がなんと221,090個集めており、累計数のキャップをゴミとして焼却した場合のCO₂の発生量を1,645.88Kgも削減したことになります。これからも継続していきますので、各ご家庭や地域の方々のご協力をお願い申し上げます。(お手数ですが、キャップは洗って、シールをはがして頂きますようお願い申し上げます。)



生徒指導通信

ONE TEAM より インターネット上の「なりすまし」に注意!

インターネット上の「なりすまし」には、大きく分けて2つの種類があります。1つは、SNSなどのアカウントを乗っ取るものです。何らかの方法で他者のID・パスワードを入手し、SNSなどのアカウントに不正にログインして、そのアカウントを乗っ取るのです。それからもう1つは、SNSなどで他者になりすましたアカウントを勝手に作るものです。SNSなどで実在する利用者と同名のアカウントを作ったり、そのサービスを利用していない人の名前を勝手に使ってアカウントを作ったりするのです。SNSなどに個人情報を掲載していたり、簡易なパスワードを設定していたりすると、「なりすまし」の被害にあう危険性が高くなります。「インターネットに個人情報を載せないこと」「他者から推測されにくいパスワードを設定すること」を心がけてください。



このようにしてインターネット上で「なりすまし」を行う人物の目的としては、犯罪行為があげられます。乗っ取ったSNSのアカウントを使って、友だち登録されている人に対して詐欺行為を働いたりすることを目的としているのです。それから、「なりすまし」の対象の人物に対する嫌がらせを目的としているケースもあります。他者になりすましたSNSなどのアカウントで不適切な投稿をして、その人物の印象を悪くしようとするものです。

SNSなどに個人情報を掲載していたり、簡易なパスワードを設定していたりすると、「なりすまし」の被害にあう危険性が高くなります。「インターネットに個人情報を載せないこと」「他者から推測されにくいパスワードを設定すること」を心がけてください。